

地域密着型サービス事業者の指定基準確認票

資料1-2

この確認票は、事業所からの指定申請に基づき、介護保険法第42条の2第1項及び第58条第1項の指定をするに当たり、介護保険法令、『流山市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例』及び『流山市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例』に定める指定基準の適合の可否を確認するものである。

(ヒアリング実施日 H26.9.3)

審査する事業所

申請者	主たる事務所所在地	千葉県流山市東深井865-44
	名称	特定非営利活動法人 流山ユー・アイ ネット
	代表者氏名・住所	理事代表 鈴木 美智子 千葉県流山市美田69-475
事業所の種類		認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護
事業所	所在地	千葉県流山市西深井176-1
	名称	グループホーム「わたしの家」
	管理者氏名・住所	金子 尚子 千葉県野田市山崎1552-16

介護保険法及び市条例

1 法第78条の2第4項及び第115条の12第2項並びに条例第4条（指定できない事項）

	基 準	確認内容	適否
1	申請者が法人であるか。	特定非営利活動法人である	適
2	事業所が市外にある場合、所在市町村の同意を得ているか。	市内事業者である	一
3	申請者（役員等含む）がこの法、保健医療福祉に関する法律で罰金刑が終了しているか。	誓約書による	適
4	指定取消の日から5年以上経過しているか。	誓約書による	適
5	指定取消手続中の廃止の届出又は指定の辞退の日から5年以上経過しているか。（役員等含む）	誓約書による	適
6	申請者（役員等含む）が指定申請前5年以内に居宅サービス等に関し不正又は不当な行為をしていないか。	誓約書による	適

		介護支援専門員証及び計画作成担当者研修 修了証の写しあり	
15	介護支援専門員でない計画作成担当者にあつては、特別養護老人ホームの生活相談員や介護老人保健施設の支援相談員その他の認知症である者の介護サービスに係る計画作成に係る実務経験があるか。	経歴書によって確認	適
16	認知症対応型共同生活介護と介護予防認知症対応型共同生活介護とを併せて指定を受け、かつ、同一の事業所において一体的に運営される場合は、介護予防認知症対応型共同生活介護又は認知症対応型共同生活介護の従業者の員数をもって足りる。(上記 ～ への対応)	介護予防認知症対応型共同生活介護も併せて指定を受けている。人員は勤務形態一覧により確認	適

(2) 管理者

	基 準	確認内容	適否
17	共同生活住居ごとに常勤の管理者を置いているか。	管理者を置いている。経歴書の添付あり	適
18	管理者は、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護事業所等の従業者又は訪問介護員等として、3年以上認知症である者の介護に従事した経験があり、大臣の研修を修了しているか。	管理者経歴により確認 管理者研修修了証書の写し添付あり	適

(3) 代表者

	基 準	確認内容	適否
19	代表者は、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護事業所等の従業者又は訪問介護員等として、認知症である者の介護に従事した経験又は保健医療・福祉のサービス提供事業所の経営に携わった経験があり、大臣の研修を修了しているか。	経歴書により確認	適

3 設備に関する基準

	基 準	確認内容	適否
20	事業所の共同生活住居は、1又は2であるか。	2ユニットである	適
21	共同生活住居の入居定員は、5人以上9人以下であるか。	重要事項説明書に規定 桂ユニット9人 楓ユニット6人	適
22	共同生活住居に居室、居間、食堂(居間と食堂の同一可)、台所、浴室、消火設備その他の非常災害に必要な設備、利用者が日常生活を営む上で必要な設備があるか。	平面図、設備・備品一覧表添付あり	適
23	1の居室の定員は、1人(処遇上必要と認める場合2人)であるか。	(同上) 1名である	適
24	1の居室の床面積は、7.43 m ² 以上であるか。	13.2 m ²	適

	との連携をどのように努めようとしているのか。		
--	------------------------	--	--

(5) サービスの提供の記録

	基 準	確認内容	適否
36	提供したサービス内容等の記録をするに当たって、その様式は、用意されているか。	記録様式の添付あり	適

(6) 利用料等の受領

	基 準	確認内容	適否
37	利用者から徴収する利用料等に明細（法定代理受領サービスの区分、食材料費、理美容代、おむつ代、その他日常生活上の利用者負担適当な利用費用、保証金）が明らかになっているか。	重要事項説明書に記載あり	適
38	サービス提供に係る内容及び費用の説明並びにその同意をどのような方法で行うのか。	契約書及び重要事項説明書にて説明 署名にて同意をとる	適

(7) 保険給付の請求のための証明書の交付

	基 準	確認内容	適否
39	法定代理受領サービスに該当しないサービスに係る利用料の支払いを受けた場合、提供したサービスの内容、費用の額等を記載した証明書を交付することとなっているが、認識しているか。	運営規程第9条に規定。請求書の添付あり	適

(8) 身体的拘束等の禁止

	基 準	確認内容	適否
40	身体的拘束等(原則禁止)を行う場合は、どのような場合か定まっているか。また、その場合の記録(態様、時間、心身の状況、止むを得ない理由)様式は、定まっているか。	身体拘束は行ったことはないが、マニュアルはある	適

(9) 計画の作成

	基 準	確認内容	適否
41	計画作成に当たって、通所介護の活用、地域における活動への参加等を取り入れ、利用者又はその家族に説明し、利用者の同意を得ようとしているか。	運営規程第8条、同意を得て計画を交付する	適
42	当該利用者の計画書に、援助の目標、目標達成のためのサービスの内容等を記載しているか。	計画書の添付あり	適
43	計画の変更につながる当初計画の実施状況の把握(モニタリングの実施)をどのように行おうとしているか。	運営規程第8条に規定。短期の目標は3カ月に一度の見直し。長期のものについては半年に一度の見直し	適

(10) 利用者に関する市への通知

	基 準	確認内容	適否
--	-----	------	----

52	事業所の見やすい場所に運営規程の概要、介護従業者の勤務体制その他サービスの選択に資する事項を掲示することを認識しているか。	現地にて掲示してあることを確認	適
----	---	-----------------	---

(17) 秘密保持等

	基 準	確認内容	適否
53	現従業者又は元従業者が業務上知り得た情報をどのような方策により、漏えい防止に努めようとしているか。	運営規定第11条、重要事項説明書第16条、就業規則第13に規定あり	適
54	サービス担当者会議等で利用者の個人情報を用いる場合、利用者又は家族の同意を、あらかじめ文書で得なければならないが、その方策はどのようなものか。	文書で利用者または利用者家族の同意を得ている。 ヒアリング時に署名の確認	適

(18) 苦情処理

	基 準	確認内容	適否
55	利用者又は家族からの苦情（記録の作成）に迅速かつ適切に対応するため、その窓口を設置しているか。	重要事項説明書に規定あり 苦情受付担当者の設置 相談・苦情窓口一覧の添付あり	適

(19) 事故発生時の対応

	基 準	確認内容	適否
56	サービス提供により事故発生した場合（記録の作成）、市、家族及び利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡するとともに、賠償すべき事故の場合は賠償することを認識しているか。	重要事項説明書第15条に規定 緊急時には外部からの受け入れも行う 協力医療機関あり 損害賠償保険証書の写しあり	適

(20) 非常災害対策

	基 準	確認内容	適否
57	非常災害に関する具体的な計画、関係機関への通報・連携体制をどのように整備しているか。	運営規定第16条、重要事項説明書13、に規定あり 消防計画書の添付あり 3日分の非常食の備蓄	適
58	定期的な避難・救出その他の必要な訓練をどのように行おうとしているのか。	年2回消防計画に基づく、消防訓練の実施 消防署及び介護支援課の立ち会い	適

(21) 衛生管理等

	基 準	確認内容	適否
59	施設、食器等の設備又は飲料水について、どのような措置で衛生的な管理に努めるのか。	運営規定第14条に規定あり	適
60	感染症が発生した場合、まん延しないような措置をどのように考えるか。	運営規定第14条に規定あり	適

66	利用者の介護予防(要介護状態とならないで自立した日常生活を営む)に資するような目標を設定し、どのように計画的に実行(能力を阻害しないサービス)しようとしているか。	運営規定第2条、第3条に規定あり	適
67	サービスの質の評価(自己及び外部)及び公表をどのように行おうとしているのか。	ワムネットで公表、市に報告している	適

(2) 具体的取扱方針

	基 準	確認内容	適否
68	利用者の心身の状況、環境等日常生活全般の状況把握のための主治医又は歯科医師からの情報をどのように得ようとしているか。	往診医による診療情報提供書にて確認。 入居時は持参の診断書による	適

(3) 介護等

	基 準	確認内容	適否
69	利用者の負担により、当該共同生活住居における介護従業者以外の者による介護を受けないようにしているか。	ヒアリング時にて確認	適
70	利用者の食事その他家事等の作業を利用者と介護従業者が共同で行うように努めようとしているか。	運営規定に規定あり	適

(4) 社会生活上の便宜の提供等

	基 準	確認内容	適否
71	利用者の趣味又は嗜好に応じた活動の支援をどのように行おうとしているか。	運営規定第2条、第3条にて確認	適
72	利用者の日常生活に関わる行政機関等への手続の代行(同意)を認識しているか。	必要に応じて行う	適
73	利用者とその家族の交流を図るための方策をどのように考えているか。	イベントに招待 サービス担当者会議に参加してもらう 家族会を3～4カ月に一度開催している	適